

令和6年10月 岩手県教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和6年10月21日（月）午後1時30分

閉会 令和6年10月21日（月）午後2時28分

2 開催場所

県庁10階 教育委員室

3 教育長及び出席委員

佐藤 一 男 教育長

新妻 二 男 委員

小野寺 明 美 委員

宇部 容 子 委員

泉 悟 委員

山口 研 介 委員

4 説明等のため出席した職員

菊池教育局長兼首席サービス管理監、坂本教育次長兼学校教育室長

武蔵教育企画室長、黒澤教育企画推進監兼サービス管理監、最上特別支援教育課長、大森参事兼教職員課総括課長兼サービス管理監、佐藤小中学校人事課長兼サービス管理監、駒込県立学校人事課長兼サービス管理監、佐藤文化財課長

教育企画室：女鹿主任主査、安倍主事（記録）

5 会議の概要

第1 会期決定の件

本日一日と決定

第2 事務報告1 令和7年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について（学校教育室）

別添事務報告により説明

第3 議案第26号 岩手県教育支援委員会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて（学校教育室）

別添議案により説明

原案どおり決定

第4 議案第27号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて（教育企画室）

別添議案により説明

小野寺委員：今回も多くの特団体や個人が表彰されて素晴らしいと思っております。気仙光陵支援学校高等部も表彰されて嬉しく思いました。支援学校の学校訪問にお伺いすると、地域密着し様々な活動を活発にどの学校もされていて、受賞歴があってもなくても素晴らしい活動をしているところが多く、そうした活動をこれからも表彰できればと感じております。

原案どおり決定

第5 議案第28号 文化財の指定に関し議決を求めることについて（生涯学習文化財課）

別添議案により説明

新妻委員：二戸金田一・浄法寺の子安信仰資料と助産用具は、個別にあるということで数がすごくありますが、管理や管理の手間暇、諸費用に対する配慮や対応はどのようになっていますか。

佐藤文化財課長：ご覧のとおり、所有者が多岐に渡るところで数も多くございます。しかしながら、これは二戸市に所在しているものになりますので、一義的には二戸市教育委員会を維持管理の窓口として、適切な管理を心掛けていただくということになっております。

新妻委員：従来市町村指定であったものが、今回県指定となり、市町村指定はなくなるかと思えます。市町村指定よりも県指定になった方が、格が上がり、管理上の課題等がより一層解決しやすくなるというのが、本来理想なのかなという気がいたしますが、そういう方向ということでよろしいでしょうか。

佐藤文化財課長：市指定から県指定になりますと、県が一義的には責任を持って管理するということで、県の中でどのような方法があるかということを考えまして、二戸市とも協議をさせていただいた中で、そのような窓口として活躍していただくやり方というのが、整理もしやすいだろうということで協議をしたところ、そのような形で進めようということになったものでございます。

原案どおり決定

第6 議案第29号 令和7年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて(教職員課)

別添議案により説明

小野寺委員：岩手モデルの文言が入ったことはとても良かったと思います。様々な取組のなかで、岩手モデルは、岩手の教育の一番大事にしている部分で、常に岩手モデルを念頭においてこれからも推進していくということで、これからもこの方針から外さないでずっと入れておくべきだと思います。

宇部委員：この議案には異存ございません。学校訪問等をいたしましても、各地区で、職員の方々が一生懸命指導し、子供たちも明るい笑顔で、頑張っている学校が多々あります。各校が学校組織で学力向上等にどんだん力を発揮できるようにお願いしたいと思います。

泉委員：県立学校の指導教諭については、いろいろな部分があるということは承知をしていますが、来年度も、今までどおりのように扱っていくという捉え方で良いでしょうか。

また、女性教職員を積極的に管理職にするということが随分進んでいると思いますが、分母の違いはあるにせよ、今後、さらに女性の管理職を増やしていくべきではないかと思いますが、その点について、どういう捉え方をしているのでしょうか。

駒込県立学校人事課長課長県服務管理監：まず指導教諭についてですが、お尋ねのとおり、今年度の選考については、これまでと大きく変わりございません。ただ、一昨年から、全県に広く配置するというで選考要綱に入れております。できるだけ広く、1つの学校にたくさんの指導教諭がいるということがないような形をとりたいと考えております。

2つ目です。女性管理職についてですが、この5年間で女性管理職の割合は、現実が増えてきておりまして、今年度の県立学校ですが、校長と副校長を合わせた女性管理職の割合が16.3%となっております。さらにこの数を増やしていけるようにしたいと思っております。

原案どおり決定

以降は非公開とする議決がなされた。

会議結果の公表は、教育長に一任することとして議決された。